

商 法

(問 題)

2023 年度

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に3箇所に入力してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（80点）

外国メーカーの中古車の販売事業を営む甲株式会社（以下、甲社という）は、約20年前に資本金1億円で設立された会社法上の公開会社（種類株式は発行していない）である。甲社は、10年前に全国に販売網を展開・整備する際、金融機関から多額の借入れを行っており、現在、会社の負債の額が資産の額を上回る状態（いわゆる債務超過状態）にある。乙株式会社（以下、乙社という）は、中古車販売事業を営む会社法上の公開会社（種類株式は発行していない）であるが、甲社の設立時に発行株式の10%に相当する数の株式を引き受けており、現在もその割合の株式を保有している。

多額の負債は甲社の経営を圧迫しており、ここ数年は株主に配当できない状態が続いている。乙社の代表取締役は、甲社の取締役会の意向を受けた甲社代表取締役から、経営が逼迫している甲社を救済してもらいたいと懇請された。

それに応じて乙社では、①乙社が甲社の発行する株式を引き受け子会社にするという案、②甲社を吸収合併するという案、および③株式交換によって甲社を完全子会社にするという案が検討されている。

〔設問〕

（1）①案を実施しようとする場合、会社法上注意すべき点を述べなさい。

（2）②案を実施する場合と③案を実施する場合とを対比し、会社法上の異同について述べなさい。

*なお、適格合併、適格株式交換やその他の税制に関する内容、または独占禁止法上の規制等については論じなくてよい。

〔以下余白〕